

平塚市総合計画平成29年度版実施計画(素案)に対する御意見及び市の考え

1 意見の募集期間

平成28年12月2日(金)～平成29年1月4日(水)

2 意見の提出方法

持参、郵送、FAX、電子メール

3 意見数

個人から	2名	4件
団体から	0団体	0件
合計		4件

4 意見対応

反映	0件
参考	4件
合計	4件

<お問い合わせ先>

平塚市企画政策部企画政策課

電話番号 0463-21-8760

電子メール kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp

平塚市総合計画平成29年度版実施計画(素案)に関する意見対応表

番号	市民意見(要約)	市の考え	対応
1	<p>多文化・共生の推進に向けて、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語等の翻訳が充分進んでいないことが課題となっている。</p>	<p>本市では、外国籍市民にも暮らしやすい多文化共生のまちづくりを目指し、平塚市通訳・翻訳等ボランティアバンクシステムを設置して、公的機関等からの依頼による通訳・翻訳サービスを提供したり、外国籍市民と地域住民との交流を進める活動をしております。</p> <p>今後も平塚市通訳・翻訳等ボランティアバンクシステムの研修会等を活用して、通訳・翻訳の知識等の向上に努めてまいります。</p>	参考
2	<p>減災への取組みをより強化する住民間の連携を模索する必要がある。</p>	<p>災害時に住民がそれぞれの役割を担えるよう、実践的な防災訓練を実施し、自主防災組織の強化を図ることで減災につなげてまいります。</p>	参考
3	<p>新市民センターホール建設にあたり、大ホールだけでなく100～300名収容できる小ホールの併設を希望する。ホールは市内に2つくらいはあってよいものと考え。座席は階段状として舞台を観易くし、音響、照明などをお願いしたい。</p>	<p>見附台周辺地区土地利用計画―改訂整備方針―(素案)における(仮称)新文化センターの建設に関して、小ホールの設置を想定しておりませんが、幅広い創作活動や発表会に対応するため、小ホールの機能を備えた、利便性や機能性の高い、多目的に活動いただけるスペースの設置を考えております。</p> <p>具体的な規模や機能については、今後検討してまいります。</p>	参考
4	<p>戦後復興事業としての七夕まつりは、一定の役割を果たしたといえる。別のまちづくりの面から手法を考えなければならない時代に差し掛かっている。</p>	<p>湘南ひらつか七夕まつりは、多くの市民に愛され、市内外から訪れる多くの観光客で賑わう、本市を代表するイベントです。</p> <p>今後も観光振興のための取組みとして継続してまいります。</p>	参考